

# 気を新たに、次の一歩へ。

団結を固め、いっそう頑張ろう！

宇治市にさらなる圧力  
開浄水場  
休止問題

購入費、ポンプ交換費も負担へ  
に加え

開住民が緊急集会で方針

宇治市の開浄水場休止問題で地元の開地区自治連合会(海老温信会長などは9日夜開地域福祉センターで緊急住民集会を開き、出席した約80人がポンプ購入費のみならず、交換に要する費用についても住民側で負担する方針を確認した。

ともあり、住民らは判決が確定するまではポンプを維持するように求めて1994人の署名を添えた要求書を提出。湯川二郎弁護士は、市はポンプ購入費用、交換の工事費の予算がないことに加え、休止理由の一つである施設老朽化の一部であること、休止の議決に反することを理由にポンプ交換を拒否している」と説明した。

住民らはポンプ購入代金を支出することを申し出ているが、湯川弁護士は「裁判長から交換費用も出せないか。次回15日の協議に寄付申出書を提出できないか」との提案があった」と説明。神明浄水場のポンプ交換に要した費用として最大約180万円が必要となるが、湯川弁護士は「市にとってポンプが壊れることは切り札。ポンプがつぶれたら全てが終わる。未来水劫守するための第一歩で、維持させないと私たちの要求が通らない。ここが正念場」として決断を促した。

住民の声、力強く

んでいない人もいる。不満が出てくる。皆さんの了解を得るのも難しくなる」との意見もあったが、最終的には裁判長の提案は水を飲むことを思えば有難い話「これを市が拒否すれば市長は大恥かくので我々は絶対にすべき」などの意見が大勢を占め、住民集会の決定方針としてポンプ交換の工事費も地元負担することを決めた。

今後、各町内会、自治会での協議を経て最終決定する見込み。15日の進行協議の時に久保田勇市長当てるの寄付申出書を裁判長に提出することになる。最後に湯川弁護士は「住民エゴと言われることが、住民が負担することと乗り越えた。市も拒否すると顔がつぶれるので拒否できないのではないか」と見通しを述べた。

## ポンプ交換、住民が自己負担の意思

宇治市の開浄水場問題

府営水への切り替えの市方針に反対し、開浄水場の存続を求め、宇治市と係争中の開地区自治連合会など3自治会と第2次水道問題対策委は9日夜、開地域福祉センターで集会を開き、住民約80人が参加した。

今年2月に浄水場取水ポンプが老朽化で停止、市は「休止決定し

府営水への切り替えの市方針に反対し、開浄水場の存続を求め、宇治市と係争中の開地区自治連合会など3自治会と第2次水道問題対策委は9日夜、開地域福祉センターで集会を開き、住民約80人が参加した。

今年2月に浄水場取水ポンプが老朽化で停止、市は「休止決定し

今年2月に浄水場取水ポンプが老朽化で停止、市は「休止決定し

2009/7/10

城南新報

洛南タイムス

第二次水道問題対策委員会 By 木村

平成21年7月15日

宇治市  
代表者市長 久保田勇 殿

## 寄附申入書（案）

この度、宇治市神明宮北65番地26所在の開浄水場の用に供する揚水ポンプ1本及びその交換に要する費用を、その浄水場の用に供する目的で寄附申し入れいたします。

よろしくご受納され、揚水ポンプを交換していただきますようお願い申し上げます。

### 寄付者

開地区自治連合会会長	海老 温信	印
開ヶ丘自治会会長	堀江ひさ代	印
一里丘住宅地自治会会長	金川 幸二	印
第二次水道問題対策委員会委員長	木村 正孝	印